

平成27年度第4回渋川市総合教育会議 議事録

I 開催日時

平成28年 2月26日(金) 午前9時55分開会 午前11時20分閉会

II 開催場所

渋川市役所第二庁舎201会議室

III 出席者

【構成員】阿久津貞司市長、土田猛教育委員長、太田大森教育委員長職務代理者、池田由美子教育委員、高橋秀和教育委員、後藤晃教育長

【事務局】佐久間総務部長、田中企画部長、立見保健福祉部長、田中学校教育部長、天田生涯学習部長、橋爪教育総務課長、名塚学校教育課長、綿貫学校給食課長、石田生涯学習課長、田中体育課長、小林文化財保護課長、内田こども課長、笹原企画課長、ほか担当職員3名

【傍聴者】 6名

IV 会議の概要

1 開会

笹原企画課長	みなさんこんにちは、本日お忙しといころご出席いただきましてありがとうございます。 定刻前ではございますが、みなさんお揃いでございますので、ただいまから平成27年度第4回渋川市総合教育会議を開催いたします。私は、司会を務めさせていただきます企画課長の笹原と申します。 よろしく願いいたします。 はじめに、阿久津市長からごあいさつを申し上げます。
--------	--

2 市長あいさつ

阿久津市長	— あいさつ —
笹原企画課長	続きまして、土田教育委員長からごあいさつをお願い申し上げます。

3 教育委員長あいさつ

土田教育委員長	— あいさつ —
---------	----------

4 議題

(1) 平成28年度予算内示案について

(2) 組織機構の見直しについて

笹原企画課長	それでは、議題に入らせていただきます。 渋川市総合教育会議設置要綱の規定によりまして、このあとの進行につきましては市長をお願いいたします。
--------	--

阿久津市長	<p>それではしばらくの間、議長を務めさせていただきます。 早速ですが、議題に入らせていただきます。 「議題（１）「平成２８年度予算内示案について」と議題（２）組織機構の見直しについて」は関連がありますので、一括議案とさせていただきますがよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>異議無し。</p>
阿久津市長	<p>それでは、事務局から説明をお願いします。</p>
佐久間 総務部長	<p>－配付資料に基づき説明－</p>
阿久津市長	<p>本日、議題とさせていただいている、来年度の予算と組織機構の見直しについては、毎年２月２２日議会と報道関係へ情報を提供していますので、ご覧になった方もいると思います。 本日は、教育委員会の皆さんには、関係する内容について説明させていただきましたので、事業内容や予算についてご質問やご意見をお伺いしたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。</p>
後藤教育長	<p>平成２８年度の当初予算内示額について口火を切らせて頂きます。 教育の目的については、教育基本法にも定めがありますが、要約すると教育は次代を担う人材の育成にあると考えております。そして教育予算につきましても、大規模な施設整備を除いて、長期的、継続的、安定的に予算措置をされる事が望ましいと考えております。 平成２８年度の当初予算の編成にあたりまして市長においては、その重点施策として子育てのまち、教育のまちを基本としたまちづくりを進めるとし、子育て世帯の経済的負担の軽減をはじめ、こどもの全ての成長を支援するための施策をメインに据えて予算措置していただいたと理解しています。 また、子育て支援の対象範囲につきまして、従来、出産から就学前までの子どもに手厚い部分があったと考えますが、今回、その重点を小中学生にまで拡大することを明確にした予算ではないかなと捉えています。 また、新たに「子ども夢基金」を設置することについては、今後の予算編成にあたりまして、長期的、継続的に子育て支援の充実を図っていくことを明らかにしたものであって、市民からも期待を持って受け止められる予算になっていると捉えています。</p>
阿久津市長	<p>ありがとうございました。コメントと言うことでよろしいでしょうか。ほかにありますか。</p>
池田委員	<p>先ほど教育長のお話がありましたが、私も同意見です。 質問ではないが感想を踏まえて話させていただきます。 新聞報道にありましたが、市長の「医療と教育のまち」をキャッチフレーズを基本とすることについては、同感でこの考えが反映された予算案になっていると思います。特に教育長からお話のあった子育て世代に視点</p>

をおいていることに対して、私も子育てを経験してきた世代としてありがたいなと感じました。切れ目のない支援をすることが具体化されたと感じました。特に給食費の一部負担、第三子の給食費無料は子育てのまちづくりにつながると思います。ソフト面にシフトを置かれたとのことですが、きめ細かな指導の充実、あじさいプランのほか、小中学校へのマイタウンティーチャーの配置など特別支援の教育における支援員の配置などかなりの予算枠を取っているなと思いました。確かに教育に力を入れていることが伺えると思います。

市長のお話の中では、子どもは市の宝であるこの言葉は、何度と無く聞いていますが、宝は輝かせて、大きくさせるには教育が非常に大きな力を持っているのではないかと考えています。

ぜひ、今後も教育について充実をお願いしたいと考えています。

阿久津市長

私の政治理念の中で、地域の教育が地域のためになると私の理念に入っていました。限られた予算の中では、まず、耐震補強や給食センター整備などを優先してきました。施設整備が一段落してきたことで、ソフト面にシフトできたと思っています。健全な財政しっかり維持しながら「子育てするなら渋川市」これを合い言葉にしっかりと取り組んでいきますのでよろしくをお願いします。

土田教育委員長

先ほど佐久間総務部長から予算の詳しい説明ありがとうございました。私からは、2点ほど一つは意見、もうひとつはお聞きしたいことがあります。

一つは、学校給食費の一部公費負担についてですが、私の意見、感想を述べさせていただきます。

以前、私は小中学校のPTA会長をしていたときに、校長先生から給食費を納められない方のお話を聞いておりました。各家庭、経済的な理由があると思いますが、給食費の一部を支援しましょうという考えを持っていただいて、第3子以降は無料化になれば、経済的に助かりいい策だなと思います。

もう一つは、いじめ問題対策連絡協議会についてです。

これも以前PTAに携わっていたときに、どこの学校においても多かれ少なかれ「いじめ」はあるのではないかなと考えているところです。

この新規事業で来年度予算は3万円のようなのですが、もう少しあったほうがいいのかと思います。内容についてお伺いします。

田中学校教育部長

これにつきましては、渋川市いじめ対策連絡協議会を設置いたしまして委員の報酬に充てる予算になります。委員は15名以内で組織を予定しており、教育長、渋川警察署長、児童協議会、青少年育成・子供会育成連絡協議会等のメンバーで協議会の委員に委嘱を考えておまして、この協議会の委員の報酬となっています。

阿久津市長

よろしいでしょうか。

土田教育委員長

承知しました。

阿久津市長	ほかにございますか。
高橋委員	<p>日頃から教育にご配慮いただき感謝申し上げます。</p> <p>私からは、新たな教育の取組の中の「こども夢基金」についてお伺いします。結構な予算額ですが、当面の活用方法、対象、運営方針を教えてくださいたいと思います。</p>
佐久間総務部長	<p>基金の概要について説明させていただきます。</p> <p>この「こども夢基金」ですが、太陽光発電に伴う収入が継続的に2,300万円から2,400万円程度見込めることからこれを原資としてスタートするものです。このほか今年度、寄附が6,000万円ほどありましたので、これを繰り越すこととなりますが、これを合わせて平成28年度の原資の部分とさせていただきます。</p> <p>太陽光発電に伴う収入は毎年2,300万円から2,400万円入ってきますので、毎年積み増しを行い、必要な事業に充当していきます。</p>
立見保健福祉部長	<p>基金の用途について説明させていただきます。</p> <p>こどもの健やかな成長への支援ということで、市の財政が厳しい中、一定の財源を福祉あるいは教育・子どもの事業に充てさせていただくものです。従来、福祉事業基金がありますが、これはハード事業や福祉に特化した事業に充当してきましたが、この「こども夢基金」は、教育分野における事業にも充当させていくというものです。</p> <p>もう一つは、新たな事業が発生したときに、継続的に実施すべき事業かどうかなどがあると思います。そのような場合にこの基金を使用させていただき迅速に事業対応し、数年掛けて検証しながら必要があれば一般財源へ移行し事業を展開するなど、迅速に対応するソフト事業等へ活用していければと考えています。</p>
高橋委員	わかりました。
阿久津市長	ほかにありますか。
太田教育委員長職務代理者	<p>私からは、質問ではなく感想を申し上げさせていただきます。</p> <p>一つ目は、スポーツ課の新規事業で、スポーツ事業者養成事業ですが、この事業は学校側においてもとてもいい事業と思います。外部指導者の知識の向上を図るために、講習会を実施し、規定の単位を取得した指導者に対して終了証を交付するようですが、いい事業だと思っています。</p> <p>もう一つは、学校教育課のきめ細かな指導充実事業、通称「あじさいプラン」ですが、各学校の状況に応じたきめ細かな指導を実施するため、非常勤講師を配置するとのことですが、私は大賛成です。特に再編統合による対象校に重点的に配置ということもありますので、来年度以降も引き続き実施していただきたいと思います。</p>
天田生涯学習部長	<p>スポーツ指導者養成事業について説明させていただきます。この事業の目的は、各年代層に適切なスポーツの指導、助言を行うために必要な知識</p>

と技能を習得した指導者を養成することを目的にしています。講習支援の内容は、スポーツ理論、スポーツ心理学、スポーツ栄養学などのほか、救命救急の講習などになります。平日の夜間など受講者が参加しやすい時間帯を設定し行います。対象者は、20才以上の方で市体育協会に加盟しているか同協会から推薦された方などに受講していただき、安全なスポーツ指導を行える指導者を育てることを図っていくものです。

田中学校教
育部長

きめ細かな指導充実事業は新規事業ですが、予算額8,904千円で非常勤講師6名の任用を予定しております。

配置の基準ですが、学校再編統合に伴うところに配置して児童生徒の心のケアを行うなどを考えています。

このほか、取り巻く環境に影響を受けている子どもが多いということで、きめ細かな指導を行っていきます。

また、5・6年生になりますと40人学級に戻ってしまっ、2クラスが1クラスに戻ってしまう学年に対しましてもきめ細やかな指導を行うため配置します。

中学校においては、専門科目の教諭が不足する状況もあり、平成28年度においては、こうした科目の支援のため配置していきたいと考えております。これまで継続して設置しておりますマイタウンティーチャーと合わせて、きめ細やかな指導充実していきたいと考えております。

阿久津市長

よろしいでしょうか。

太田教育委
員長職務代
理者

はい。

阿久津市長

スポーツ指導者養成事業のスポーツの指導についてですが、日体協（日本体育協会）の指導資格を取ろうとしても、普通の方ではなかなか日程が取れないようです。

いろんなスポーツがありますが、指導していて事故があっては困るでしょうから、日体協と同じくらいのスケジュールの講習を受けていただき、子どもたちなどの指導にあつたてもらえればと考えています。

ほかにありますか。

後藤教育長

ただいまのスポーツ指導者養成事業ですが、学習指導要領が改訂になり、柔道が必修科目になりまして、本市の10の中学校のうち9校が柔道を選択しています。この柔道授業の中で、受け身が出来ず、不幸にしてケガにいたる事例が数件報告されています。教員の養成も課題として上がりましたが、それだけでなく、指導員がサポートできる体制を築ければ事故の未然防止につながると考えています。

これについては、市長からお話しがありましたが、日体協の資格までとはいかなくても渋川版の講習会を整備するなどにより、まずは、基礎的な指導者が増え、子どもたちをサポートする環境を整備できればと考えています。これは意見です。

阿久津市長	<p>ありがとうございます。ほかにありますか。</p>
池田委員	<p>先ほどありました、きめ細かな指導充実事業ですが、名称も「あじさいプラン」と渋川の花に「あじさい」にちなんでおり、予算も多く取られ新規事業としていいと思います。</p> <p>今年度は6校へ6人配置（非常勤講師）の支援の基準枠でと説明がりましたが、この基準は毎年変わるものなのではないでしょうか。また、今後もこの基準の範囲内で取り組んでいくのかどうかお伺いします。</p>
田中教育部長	<p>きめ細かな指導充実事業、通称あじさいプランですが、平成28年度につきましては、先ほどご説明申し上げた、4通りの基準で、市内6校6人を配置する予算を計上させていただいたところです。学校の再編廃合はこれからも続きますので、児童、生徒たちの心のケアを引き続き実施して行ければと考えています。</p> <p>また、ほかの案件についても国・県の制度で対応しきれない所をホローしていきますので、平成28年度以降も更に充実していきたいと思います。</p>
池田委員	<p>要望ですが、今後、小学校において英語教育の充実の指針も入ってくると思いますので、今後もあじさいプランの拡充をぜひお願いしたいと思います。</p>
田中学校教育部長	<p>貴重なご意見を頂きまして、拡充について推進していきたいと思います。</p>
阿久津市長	<p>ほかにありますか。</p> <p>組織についてはどうでしょうか。スポーツ関連事業を市長部局への移管についてはどうでしょうか。</p>
太田教育委員長職務代 理者	<p>私からはお願いとして発言させていただきます。</p> <p>本市では、市長から「一市民、一スポーツ」をスローガンに「渋川市スポーツ振興地域活性化構想」を打ち出し、市民の健康づくりの推進、子どもたちへのスポーツ機会への充実、また、交流人口の拡大、地域コミュニティの拡充などを掲げ、各種事業を精力的に取り組んでいただき、素晴らしいことだと思っています。</p> <p>また、市長部局で行っている健康づくり教室、保健活動、食育、介護予防等を更に強化し、市民にスポーツを通しての健康づくりを推進しようとしていることは、素晴らしいと感じております。</p> <p>更に平成29年度には、本市独自の総合型地域スポーツクラブ設立するようですが、全市民的な観点から地域づくり、まちづくりを一体的に総合的に推進できるということから、現在、教育委員会で所管している体育、スポーツ関係事務を市長部局に移管することについては、異論はございません。</p> <p>昨今では、法律の改正により学校体育を除く、スポーツ関連事業を市長部局に移管することができるようになったことから、全国的にも市長部局へ移管する傾向にあるようです。本県においても、前橋市、太田市、伊勢崎市、富岡市が既に移管していると聞いています。</p>

移管にあたり恐縮しますが、私の感じていることをお話させていただきます。

私は、学校を始め青少年に関わり48年になります。現在も県青少年育成事業団理事長として青少年と関わっています。

子どもたちは、学校教育だけではなく、社会教育と学校教育の中で健全に育成されていくということです。健全なる精神は、健全なる身体に宿るとも言いますが、この健全なる精神は、教育で育み、培われることが大きいと思っています。そして学力は、知育、徳育、体育が総合調和されて育成されていくもであり、知育だけではないということは、言うまでもありません。また、体育、スポーツは、学校の体育だけで育まれるものではなく、スポーツ少年団と地域における社会体育における分野でも培われると思っています。

しかし、渋川市に限りませんが、教育委員会の同じ所管でありながら、学校では社会体育分野のことが以外と知られていないことが多く、連携が課題であると感じています。スポーツ関連事業が、市長部局に移管すれば更にこのようなことを懸念しています。

先ほど述べたように、スポーツ関連事業の市長部局への移管には、異論はありませんが、移管にあたり教育の視点から考え直すと、従来の市民からの教育への信頼関係を維持し、また、課題の解決ということから、市長部局へ全て任せるのではなく、従来通り、いやそれ以上に連携協力、情報の共有を大事にしていきたいと強く思っています。以上です。

田中
企画部長

今回、組織機構の見直しにおいて、スポーツにおける多面性に配慮して、スポーツ関連事業を市長部局へ移管し事業を推進したほか、より市民のためになるとのことで、移管しました。委員のおっしゃるとおり、スポーツの教育の部分は重要な部分であると認識しております。

体育協会等の会長との協議やスポーツ審議会の中で説明し、意見をお伺いするなどを考えています。

また、平成28年度においては総合教育会議の中で、今後のスポーツにおける教育的観点など、どのように進めていくか協議をしていきたいと考えております。

阿久津市長

よろしいでしょうか。

太田教育委員
長職務代理者

はい。

阿久津市長

スポーツ関連事業を市長部局への移管については、市長部局のほうが事業をやりやすいということですのでよろしくお願いいたします。

また、必要に応じて総合教育会議等に体育関係団体の方を呼んで、事情を伺うことも考えておりますのでよろしくお願いいたします。

ほかに何かありますか。

ないようですので、この議題については、3月議会定例会に提出させていただきますので、よろしくお願いいたします。

5 その他

阿久津市長	その他で何かありましたらお願いします。
土田教育委員長	<p>私から一言よろしいでしょうか。</p> <p>本年度、総合教育会議が発足し、教育委員長の立場で出席させていただきました。第1回の教育振興大綱の策定からはじまり、第2回、第3回のいじめ問題対策連絡協議会、そして第4回目では、予算また組織機構について協議させていただきました。</p> <p>やっと、慣れてきたところで終わってしまったと感じております。</p> <p>これを機に、市長と教育委員の皆さん、また、市長部局、教育委員会部局の皆さんとタッグを組んで、来年度以降も課題に取り組んでいければいいと考えております。</p> <p>また、教育委員から新たな議題が提案できるようなこともできればいいと思っていますので、私の一つの課題として引き継がせていただければとも考えています。</p> <p>いろいろと市長と協議させていただき、ありがとうございました。</p> <p>来年度以降もつなげていただき、課題を一つずつ解決していただければ、今後の渋川の子どもや市民のために、この会議に重要性を感じ、期待をしております。大変ありがとうございました。</p>
阿久津市長	<p>土田教育委員長には、5月まで任期がありますが、長い間、ありがとうございました。また、ご意見ありがとうございました。</p> <p>私の理念の中では、教育については非常に重要視しておりますので、教育関連施策において、自分の考え方が出せた予算になっていると思っています。</p> <p>今までは、教育委員会と市長部局は別としていましたが、法律の改正で教育委員さんとの話合いができることになり、本市の教育環境の整備がまた一歩前進したと感じています。</p> <p>また、更に一歩前へ踏み出した予算を組ませていただきました。こうした取り組みは、将来の渋川市のためになりますので、こうして教育委員のみなさんと忌憚のない意見を出し合い、議論を重ね、その上で、多少意見が食い違ってもいいと思います。子どものためを思えば、お互いに調整して方針を立てれば、いいと思います。</p> <p>そのような方向で、教育委員さんにもがんばっていただければと思っていますので、よろしく願いいたします。</p> <p>以上をもちまして、本日の協議事項については、全て終了いたしました。これで議長の座を降ろさせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>

6 閉会

笹原企画課長	<p>以上をもちまして、平成27年度第4回渋川市総合教育会議を閉会とさせていただきます。</p> <p>熱心にご審議いただきありがとうございました。</p>
--------	--

平成27年度第4回渋川市総合教育会議
次 第

日 時 平成28年 2月26日(金)
午前10時～
場 所 市役所第二庁舎201会議室

- 1 開 会
- 2 市長あいさつ
- 3 教育委員長あいさつ
- 4 議 題
 - (1) 平成28年度予算内示案について

 - (2) 組織機構の見直しについて
- 5 その他

- 6 閉会